

知的財産

Intellectual Property

知的財産の創出と管理の体制を整備

「科学技術創造立国」を目指す日本において、知的財産を蓄積している大学に求められる役割は年々大きくなっています。経済の活性化や国際競争力の維持といった「社会貢献」の観点からも、知的財産の創出や管理、活用体制の整備は大学にとって重要な使命の一つです。

上智大学では、2001年10月1日に「上智大学発明等規程」を制定しました。職務発明について定義した上で、発明が生じた場合は届け出に基づいて発明委員会にて審議を行い、機関帰属の可否について判断します。機関に帰属した場合は、大学で発明を管理します。2020年度末時点で、本学に帰属した国内出願件数は229件、外国出願件数は83件となっており、日本で91件、外国で57件の出願の特許が発行されました。

The Japanese government has announced a national agenda for the promotion of science and technology and universities have been assigned a central role in the creation, management and application of new scientific knowledge. As members of society, universities have an important role to play in increasing national competitiveness and stimulating economic growth through their research activities in science and technology and the management of the intellectual property created by such research activities.

On October 1, 2001, Sophia University established "Sophia University Regulations with regard to new intellectual property." These regulations defined the rights of individual researchers and the university with regard to intellectual property created by members of the Sophia faculty in the course of their research activities and established a committee to review new research and potential patent applications. In cases where the university decides to make a patent application in the name of the university, intellectual property rights are managed by the university. As of March 31, 2021, Sophia University had made applications for 229 domestic patents and 83 foreign patents. And as of March 31, 2021, we have 91 Japanese, 57 foreign patents issued.

上智大学知的財産ポリシー

2013年(平成25年)11月1日制定

上智大学は、「産官学連携ポリシー」に基づき、研究成果を社会に積極的に還元して、社会の福祉と発展に貢献することを方針の一つとして掲げています。その方針に合わせて、知的財産においては、その創出、保護、活用という知的財産創造サイクルを円滑に循環させることが必要と考え、その基本的な考え方として、ここに「上智大学知的財産ポリシー」を定めます。

1. 知的財産の創出

- 1) 上智大学は、人材の育成および研究環境の整備・充実等において、積極的な方策を講じて、知的財産の創出を推進していきます。
- 2) 上智大学は、知的財産の重要性についての認識向上のために、継続的に啓発活動を行います。
- 3) 上智大学は、産官学の連携を図ることによって研究活動を活性化させ、知的財産を創出すべく努めていきます。

2. 知的財産の保護

- 1) 上智大学は、職務発明となる知的財産を適切に評価・承継し、権利化することによって、産業界において効率的な活用を図るとともに、権利の保護を適切に行っていきます。
- 2) 上智大学は、発明者等に対し、褒賞及び実施料等について適切な取扱いを行い、知的財産創造サイクルに資する形で還元していきます。
- 3) 上智大学は、承継された知的財産を、適切に管理し、定期的にその財産的価値を見直していきます。

3. 知的財産の活用

- 1) 上智大学は、知的財産が産業界等で効率的に活用されるように、積極的に技術移転を図っていきます。
- 2) 上智大学は、知的財産を公開し、持続的に広く社会貢献できるよう、情報発信をしていきます。
- 3) 上智大学は、共同研究、技術移転等で得られた成果を学内研究環境の改善や研究資金等の資源とすることで、新たな知的財産の創出に繋げていきます。

以上

Sophia University Intellectual Property Policy

Inaugurated November 1, 2013

Under Sophia University's "Industry-Government-Academia (IGA) Collaboration Policy" one of our goals is to channel our research results to the betterment of society. In line with that policy, we believe it is crucial to create a policy to ensure the smooth operation of the creation, protection, and use of intellectual property. The "Sophia University Intellectual Property Policy" is defined as follows.

1. Creation of Intellectual Property

- 1) We will promote the creation of intellectual property by taking positive measures to foster the development of human resources and the enrichment of the research environment.
- 2) We will promote awareness activities to raise awareness about the importance of intellectual property.
- 3) We will stimulate research activities through IGA collaborations, and commit to the creation of intellectual property.

2. Protection of Intellectual Property

- 1) We will evaluate, inherit, and acquire the rights to intellectual property originating from the inventions of corporate employees in the Sophia Corporation. By doing so, we will take measures to use intellectual property effectively in the industrial sector and protect the rights.
- 2) We will handle rewards and license fees, etc. for inventors in order to foster an intellectual property creation cycle.
- 3) We will manage inherited intellectual property and periodically reevaluate its value.

3. Use of Intellectual Property

- 1) In order to put intellectual property to its effective use in industry, we will take measures for the transfer of technology to industrial use.
- 2) We will make intellectual property accessible to the public in order to contribute to society at large.
- 3) We will make use of results from collaborative research, technology transfer, etc., by transforming them into resources to improve the research environment and increase research funds. This, in turn, will lead to the creation of new intellectual property.

公開特許出願一覧(国内出願)

2021年3月31日までに公開された公開特許公報10件を以下に掲載します。(公開日の新しい順)

※共願含む

項番	公開特許公報公開日	特許出願公開番号	発明の名称	本学代表発明者(所属・職名)
1	2021.3.11	特開2021-039305	音声の検出のための補助装置	理工学部 情報理工学科 教授 荒井 隆行
2	2021.3.1	特開2021-034919	位相調整器及び光回路	理工学部 情報理工学科 教授 高橋 浩
3	2021.3.1	特開2021-031570	ポリシクロデキストリンの超微細ナノゲル粒子及びその製造方法	理工学部 物質生命理工学科 教授 早下 隆士
4	2021.2.15	特開2021-019217	4相電力分配器及び電子機器	理工学部 情報理工学科 教授 林 等
5	2020.12.23*	特許6803593**	リサイクル資源売却システムおよびその方法	理工学部 情報理工学科 教授 伊呂原 隆
6	2020.12.10	特開2020-198270	全固体リチウムイオン二次電池用固体電解質層およびこれを用いた全固体リチウムイオン二次電池	理工学部 物質生命理工学科 教授 藤田 正博
7	2020.12.3	特開2020-193226	有機無機金属化合物	理工学部 物質生命理工学科 教授 竹岡 裕子
8	2020.11.19	特開2020-186233	細胞性粘菌を使った線虫忌避剤の製造方法	理工学部 物質生命理工学科 教授 齊藤 玉緒
9	2020.10.29	特開2020-176286	耐遅れ破壊特性に優れたPC鋼材及びその製造方法	理工学部 機能創造理工学科 教授 高井 健一
10	2020.10.29	特開2020-176080	ネグサレ線虫を忌避させるための忌避剤及びその製造方法並びにその忌避剤を用いた忌避方法	理工学部 物質生命理工学科 教授 齊藤 玉緒

* 特許公報発行日 ** 特許番号

特許登録件数、特許出願件数一覧

※共有、共願を含む ※特許出願件数(外国)にはEPC出願を含む

	年度	~2016	2017	2018	2019	2020	累計
特許登録件数	国内	43	15	10	7	16	91
	外国	38	7	3	3	6	57
特許出願件数	国内	141	24	22	16	26	229
	外国	50	7	6	17	3	83

単独所有特許一覧 (発明単位：出願日(2011.4~2021.3)の新しい順)

(2021年3月31日現在)

項番	出願日(国際出願日等含む)	登録番号(日本) / 他の登録国	特許名称	本学代表発明者(所属・職名：登録時)
1	2017.11.13	／米国	PROCESS FOR PREPARING DEUTERATED ISOTOPE OF DESMOSINE AND DERIVATIVES THEREOF	理工学部 物質生命理工学科 准教授 白杵 豊展
2	2016.12.26	6801870	セルロースゲルの製造方法及びセルロースゲル	理工学部 物質生命理工学科 教授 藤田 正博
3	2016.8.17	6804017	スポーツ打具判定システム及びスポーツ打具判定方法	理工学部 機能創造理工学科 教授 竹原 昭一郎
4	2016.7.26	6210581 / 米国	植物の栽培方法 = PLANT CULTIVATION METHOD	理工学部 物質生命理工学科 准教授 堀越 智
5	2016.6.16	6744623	人工骨材料	理工学部 物質生命理工学科 教授 竹岡 裕子
6	2016.6.16	6744622	ピペリジン化合物の製造方法	理工学部 物質生命理工学科 准教授 白杵 豊展
7	2016.5.9	6664811	ΔΣ変調器	理工学部 情報理工学科 客員教授 和保 孝夫
8	2016.3.28	6748387	電子レンジ	理工学部 物質生命理工学科 准教授 堀越 智
9	2016.3.25	6860132	DNA-金属ハイブリッドナノワイヤーおよびその製造方法	理工学部 物質生命理工学科 准教授 近藤 次郎
10	2016.1.7	6566441	移相器	理工学部 情報理工学科 教授 林 等
11	2015.9.10	6562351	ポリマーの製造方法およびニトロシルルテニウム錯体の使用	理工学部 物質生命理工学科 教授 長尾 宏隆
12	2015.7.2	6524486	電力分配合成回路	理工学部 情報理工学科 教授 林 等
13	2015.6.8	6551881	水素生成システム	理工学部 物質生命理工学科 准教授 堀越 智
14	2015.5.22	6472080	葉菜類の残留農薬除去装置	理工学部 物質生命理工学科 准教授 堀越 智
15	2015.4.1	6452244	マイクロ波励起無電極ランプ及びそれを用いた水溶液処理システム	理工学部 物質生命理工学科 准教授 堀越 智
16	2015.1.22	6521509	声道模型	理工学部 情報理工学科 教授 荒井 隆行
17	2014.12.3	6486669	マイクロ波加熱方法及びマイクロ波加熱装置	理工学部 物質生命理工学科 准教授 堀越 智
18	2014.8.21	／欧州(独、英、仏)	REPELLANT FOR REPELLING ROOT-KNOT NEMATODES, METHOD FOR MANUFACTURING SAME AND REPELLING METHOD USING REPELLANT	理工学部 物質生命理工学科 教授 齊藤 玉緒
19	2014.8.14	6408297	ビームフォーミング方法、計測イメージング装置、及び、通信装置	理工学部 情報理工学科 准教授 炭 親良
20	2014.6.3	6359878	電力増幅装置	理工学部 情報理工学科 教授 林 等
21	2014.4.25	6466081	3, 5ジカフェオイルキナ酸抽出方法及び3, 5ジカフェオイルキナ酸製造方法	理工学部 物質生命理工学科 准教授 白杵 豊展
22	2014.3.18	6233929	化合物、これを用いた定量分析用標準物質およびデスモン類の定量方法	理工学部 物質生命理工学科 准教授 白杵 豊展
23	2014.3.11	6349112	サウンドマスキング装置、方法及びプログラム	理工学部 情報理工学科 教授 荒井 隆行
24	2014.2.24	6358728	核酸検出剤及び核酸検出方法	理工学部 物質生命理工学科 教授 竹岡 裕子
25	2014.1.24	6233934 / 中国、欧州(独、英)、米国	デスモン、イソデスモン、およびその誘導体の製造方法 = PROCESS FOR PREPARING DESMOSINE, ISODESMOSINE, AND DERIVATIVES THEREOF	理工学部 物質生命理工学科 准教授 白杵 豊展
26	2014.1.15	6249401	通信装置及び通信システム	理工学部 情報理工学科 教授 林 等
27	2013.12.20	6364190	声道模型	理工学部 情報理工学科 教授 荒井 隆行
28	2013.11.14	6278507	燃料電池用高分子電解質、これを用いた燃料電池用触媒電極および燃料電池	理工学部 物質生命理工学科 教授 陸川 政弘
29	2013.9.17	6252933	構造体ならびにこれを用いた細菌の捕集および検出方法	理工学部 物質生命理工学科 教授 早下 隆士
30	2012.3.16	5967416	電子装置、プログラム及び経路探索方法	理工学部 情報理工学科 教授 ゴンサルベス・タッド
31	2012.3.13	5728417	燃料電池用電解質およびそれを用いた燃料電池、並びに燃料電池用電解質の製造方法	理工学部 物質生命理工学科 教授 陸川 政弘
32	2012.2.24	5963345	焼結体の製造方法	理工学部 物質生命理工学科 教授 板谷 清司
33	2011.9.20	5957195	磁性イオンを含むオカルマナイト構造を有する電気磁気効果材料を用いた電気磁気効果素子	理工学部 機能創造理工学科 教授 桑原 英樹
34	2011.7.27	5818556	穴あけ加工装置	理工学部 機能創造理工学科 准教授 田中 秀岳
35	2011.7.22	5726662	血液インピーダンス計測装置、人工透析装置及び血液のインピーダンスを計測する装置の作動方法	理工学部 情報理工学科 准教授 藤井 麻美子
36	2011.6.16	5846411	イメージング方法及び変位計測方法及び装置、並びに、超音波画像診断装置	理工学部 情報理工学科 准教授 炭 親良